

## 九州大学×NEXCO 西日本 技術シンポジウム企画(案)

1. タイトル 『はじまる・ひろがる・めぐる・九州の高速道路・新時代(仮)』

## 2. 説明文

今年4月、東九州自動車道の椎田南ICから豊前ICが開通し、北九州市から宮崎市まで一本の高速道路で結ばれました。

昭和46年に九州初の高速道路として九州自動車道の植木ICから熊本ICが開通してから45年が経過し、九州の高速道路は、管理延長1000kmを超え、1日あたり約75万台の車両が通行しています。

一方、今年4月の熊本地震により、九州道と大分道の一部に大きな損傷を受け、一部区間の通行止めを余儀なくされ、社会的にも大きな影響を与えました。

このように、高速道路は現代社会に欠かすことの出来ない存在となりました。今年4月の開通から半年、改めて人・モノの交流を支える基礎的インフラとして、高速道路に期待される役割について考えます。

## 3. 時間割(案)

- 13:30～13:35(5分) 開会挨拶
- 13:35～14:35(60分) 講演[1]
- 14:35～15:05(30分) 講演[2]
- 15:05～15:25(20分) 休憩
- 15:25～16:25(60分) 講演[3]
- 16:25～16:55(30分) 講演[4]
- 16:55～17:00(5分) 閉会挨拶

4. 講演者(案) : 講演時間: 計180分

**講演①** 物流関係、講演者:大学の先生

(物流拠点の統合など事業の効率化、配送範囲の拡大、モノの流れの変化、物流業界のトレンド、高速道路との関係)

**講演②** 観光関係、講演者:九州観光推進機構 or 観光協会(自治体)

(観光ルートの広域化、交流人口増加、人流の変化、新たな観光資源の発掘例)

**講演③** 地域の安全・活性化、講演者:九州大学教授

(災害時の対応、緊急物資の輸送、熊本地震の例、津波避難所、高速道路を活かしたまちづくり、地域産業の振興、生活圏域の拡大)

**講演④** 高速道路(九州)の整備経緯など、講演者: NEXCO 西日本

(管理延長の推移、交通量の推移、地震(?)、周遊割引(?))